

第7回登別市立図書館整備検討委員会 議事録要旨

- 日 時：令和7年1月30日（木）午後6時30分～午後8時20分
- 場 所：登別市市民会館 大会議室
- 出席状況：委員 15名（欠席） 2名
行政 6名 教育部部長
教育部参与
教育部次長
教育部図書館長
教育部図書館主査
総務部企画調整グループ総括主幹
傍聴 2名

1 開会

- (1) 本日の流れについて説明（事務局）
 - ア 前回、前々回はフリーディスカッションを行ったが、今回は通常会議とする。
 - イ 12月に委員から提出された質問書への回答及び別添資料「図書館の機能と役割」は会議資料と一緒に事前送付したのでご確認いただきたい。
 - ウ 本日の協議テーマは前回同様「図書館本館施設の方向性について（維持か移転か）」であり、それについて決定出来ればと考えている。
- (2) 事務局からの配布資料について、質問有無の確認（委員長）
- (3) 議事録の訂正について（委員より）
 - ア（委員）前回議事録（フルバージョン）の自身の発言部分について、発言した記憶がなく、もし議事録通りであれば削除願いたい。
→（教育部局）録音を確認することは可能であるが、この議事録は備忘録的なものと思っているので、議事録の削除等ではなく会議の中でこのような意図であったと報告いただき、それを今回の議事録に残すということではいかがか。
→（委員）前回の発言について、仕直し。

2 協議

- (1) 本日の協議「図書館本館施設の方向性について（維持か移転か）」について委員からの主な意見（下線部が市側の回答）
 - ア 現状維持のみ反対。移転先は幌別東小学校にして欲しい。生涯学習センター機能を持たせたものにし、体育館とグラウンドがあるので、そこに図書館を入れて皆が集う場にしていただきたい。20年後、公共施設の様々な償還が終わった後、新築も視野に入れた移転という条件が付く。そのため、基金の積み立て等再開し、断ち切れにならないように続けてほしい。
 - イ 基本的に移転。移転先に関してはもう少し考えなければならないと思う。アー

ニスには問題点はあるが、子ども達が集まり、買い物をしてというのは素敵だろうと思う。なお、先日のフリートークの中で、提出した質問書の回答が教育委員会から出てこないと言われていないというお話があり、今度は回答が出たので、出来れば現状か移転についてお話いただければと思う。

- ウ 地元出身ではないが、登別で子育てをするのはかなり良くないと思っている。理由は、子ども達が遊ぶ場所がない。(ア)の意見のように、図書館と公園、体育館があって、子どもを連れて遊びに行きながら本も借りられる場があれば良いと思う。配布された資料「図書館の機能と役割」にはとても良い内容が書かれていて、この理想的な図書館が作れるのであれば、幌別東小学校が良いと思う。子ども達やお年寄りが集まり、色々な事が出来るのではないか。津波の心配をされるが、他の施設でも津波は来る。アーニスは、健診などで若い人達に入ってもらう方向が良いのでは。
- エ (アとウの意見を聞いて) 幌別東小学校がすごい魅力的だと感じた。海も見え、明るい気持ちになれる。アーニスは、市で書店をやって欲しい。他市の例では、市が運営している書店もあるし、登別市は書店がほとんどない。アーニスは商業施設だし、書店であれば仕切らなくても良いし、アーニスにとっても良いのではないか。
- オ (エに対して) かつてアーニスに書店があったことはあった。なお、私も色々質問書に書いたが、可能性を考えて書いたので、反アーニス派という捉え方をされると少し困る感じがするのでご理解いただきたい。
- カ 移転賛成。何人かから出ている幌別東小学校は最後まで反対である。津波の関係で、発災後39分で12メートルの津波が登別を襲う可能性が高い。登別はこれをもとに全て避難訓練を含め対策を立てている。自分は、海の側にある宮城県荒浜小学校がどうなったかを見てきた。本は好きだが本に命をかけるつもりはないし、市民に、図書館のため命をかけなさいというつもりもない。幌別東小学校は色々考えられることがあるだろうが、それは別のところで考えて、命大丈夫だねというところから始まっていたきたい。アーニスで良いと思っているのは、駐車場に行くと12メートル以上確保出来て、垂直避難が出来る。避難所にもなっているのだから、幌別東小学校だけは是非とも避けていただきたい。→(他の委員) 近くに工学院の女子寮があり、おそらく20メートル以上あるだろう。避難場所は交渉すれば確保出来ると私は思っている。
- キ a 移転か現状維持かはあまり言える段階でなく、質問書の回答に対して再質問したいくらいであるが、今の議論を聞くと、幌別東小学校が思い浮かぶ。(ウ)の意見のように海側にある公共施設も他にある。39分あれば逃げられるのではないか。新庁舎も津波に対応出来る高さであり、第一避難所としても使われる。津波が来るということは、海側の他の公共施設も全部排除しなさいということになってくると思う。リクスはリスクマネジメントをすれば幌別東小学校の移転もありかなと思う。
b 閉鎖書庫について、本館のは全て(アーニスに)移転出来ないと分かったことから管理面の問題もあり、幌別東小学校に集約し、一カ所くらい子ども達

の学び舎が残っても良いのかなという思いがある。

ク 実務経験者として発言したいと思うが、昨年の統計を見ると、年間3,800冊位の受入冊数であるが、それを上回る冊数を除籍している。更に多い時は1万冊近く除籍している年もあった。除籍するにも精査が必要であり、業務として健全なのか疑問がある。その労力を違うサービスに使えるのではないか。中で働く人、サービスを受ける市民のためにも今のままではいけないと思う。現状は避けたい。財政面でも厳しい状況であり、移転先候補もそれぞれ問題がある。具体的に先を決めた中で、どういう問題があるのか具体的に示した中で、次に議論していくことになるだろうと思う。アーニスの広さの問題、幌別東小学校の津波の問題が出ているが、自分は車を運転しないので、幌別東小学校を通るバスの本数を考えた時に利便性の面で市民にとって良いのかと疑問がある。そういう疑問点を出し合い、妥協するという事を考えていかないといけないのではと思う。

→ (他の委員) 質問だが、現在の本館が狭いから除籍が多いということか。

→ (教育部局) 1万近く除籍したのは、婦人センターが閉鎖したイレギュラーな年であった。通常の除籍数は5千位である。

ケ 昨日図書館の見学に行き、隅々まで見てきた。移動図書館車の車庫などあり、実際に動ける場所は700から800平方メートルしかないそうだ。なので、幌別東小学校やアーニスだろうが、どんな場所でも今よりは良い。見学に行ったので分かったことであった。

コ アーニスは立地も良いし安全性も高いことから選択肢としてありだと感じるが、広さの面が気になる。これ以上広く借りられる可能性はあるのか。

→ (市長部局) 仮に移転するとなった時に、アーニス側と話すことによって、若干広い面積をとすることは可能性としてはあるかと思うが、今の時点では確かなことはお答え出来ない。

→ (委員) 耐荷重の問題で密度も低くせざるを得ないので、もう少し広い面積があると良いのかなと感じる。

サ a 質問書では候補地を4つ出しているが、「しんた21」が一番現実的かなと思ってきた。社会福祉協議会が残るから無理だと前に言われたが、社会福祉協議会だけであの建物全てを維持出来るのか。今後話し合っていくと思うが、全部図書館に出来たら理想的な図書館が出来ると思う。カントレラが閉鎖するが、物品等もしんたに入ると思う。バスも幌別東小学校に比べて多い。アーニスだけは移転先に適さない。音の問題があり、太鼓など音の出るイベントが多く開催されている。また匂いの問題もあり、食べ物の匂いが本に吸着しカビの原因にもなることから、アーニスは適さないと思う。

b 前に配布された都城市の市立図書館について、視察に行った市議員と話をしてきた。すごく理想的な図書館で、商業施設に図書館を入れる成功例だと思うが、アーニスの参考例になるかということ、そこは営業中の商業施設ではなく、元ショッピングモールを市の複合施設にしたものである。これを参考例とするなら、アーニスを全て譲り受けて多大な金額をかけてリノベーション

して初めて引っ張ってこれるのでは。

- c 役所の子育て機能を全てアーニスに入れたら主婦が買い物をして相乗効果があるのではないか。そして役所の空いたところに図書館が入る、若しくは教育委員会も空くので拡大して図書館にしても良いのではなど色々柔軟に考えている。図書館利用率の7.7%である3,360人程の声を拾い、利用者を大事にすべきだと思う。
- シ 現状の図書館を大事に使い、耐震構造やバリアフリーの問題、財政難ということもあるが、今まで積み重ねてきた図書館に対する熱い思いを温め継続して欲しい。他市で商業施設と併設した図書館の事例は、併設した方が良いということではなく、やむを得ず併設しなければならなくなったのだろうと思うし、北海道では商業施設との併設された市立図書館はない。10年20年かかるかもしれないが、登別にふさわしい図書館をぜひ実現する方向で意見を述べたい。
- ス (シの意見に対して) 今日のテーマである現状維持か移転の検討はまだ継続するのか。
 - (委員長) 継続しないとならないのでは。
 - (他の委員) まだ発言していない人も残っている。
- セ 移転でアーニスが良いと思う。今の図書館は、全然ドキドキワクワクしないし、本の貸し借りで行くだけであるが、アーニスだとフリースペースや食事するところもあり、もしかしたらソファに横になりコーヒー飲みながら本が読めるかもしれない。そうなれば嬉しいなど。音や匂い等の問題はあるが、アーニス移転が決まった時に、皆さんでそこに向かって意見を出し合えば良いのでは。過去の市民の図書館に対する思いが大事で残したいのも分かるが、もう数回議論を行っているので、移転か現状維持の結論は今この場でも出して良いのではと思う。
- ソ 委員からの質問書、それに対する回答に全部目を通したが、これだけ質問され回答が返ってきたということは、皆さん前に進めるということではないか。アーニスがだめだと質問を並べているならば、これならアーニスでいけるのではと提案も出来ると思う。移転か現状維持の結論を急ぐ前に、アーニスでこういうかたちでいくという話し合いがあっても良いと思う。分館を増設して本館を維持するとか、色々なパターンがあると思うので、パターンを例にあげて色々話し合いが出来ないのかなと思っている。
- タ 移転かどうか、自分は結論を出せない。協議する順番を変えて、「図書館本館の現状維持か移転」の前に「現施設でできるサービスは？どんな図書館が求められるか？」を話した方が良いのでは。例えば、現施設ならどう、移転先のここならどうだと一端整理する方が答えは出しやすいのかなと感じるがどうか。
 - (他の委員 A) 移転か現状維持かを決めたいと認識し、この協議テーマがあると思っていたが、また話がひっくり返るのではないか。現実的な話、現本館に居たいか。働く側、利用者側として、今より良くなるのであれば絶対移転。市民の代表の一部で会議に出ているが、とどまることは市民に何やっていたんだと言われる気がする。1歩か2歩でも良いから良くしたい。障がいのある方

はどう解決するのか。具体的にどこに移転かは見識のある方々に決めていただければ良いと思うが、本館維持は絶対反対である。なので、協議の順を変えて、もう一回現状維持か移転かを整理し直すのかを確認したい。

→ (他の委員 B) 今のアーニス分館のバリアフリーは機能分けしたはずであるので、本館も分館もあるというのは良いと思う。昨日図書館見学に行ったが、半世紀前の建物でボロボロではあるが、整理整頓され綺麗で職員と利用者の意識の高さは分かったので、現状維持という意見の方の気持ちも分かる。

→ (タの発言委員) 協議の順番を変えてもどるというよりは、仮定してみる。本館に残る仮定をして問題が出て、それなら分館もう一個作る案もあり得る。今委員それぞれが思った中で意見を言い合っているが、一端皆で一カ所づつ意見を出し合ったらどうか。もっと具体的な話がしたく、アーニスと仮定したらこういうことできるという話が出るのではないかな。

→ (他の委員 A) 提案だが、ここが良いと思っている人でプレゼン大会どうでしょうか。

→ (委員長) 事務局から提案されている本館を維持するか移転かについて、ここではどうもならなかったように思う。もう少し議論する時間が必要ではないか。事務局とは違うが。

→ (タの発言委員) 追加意見だが、本館がワクワクしないというご意見等あったが、自分は今の本館もとても好きである。今までの努力や歴史も積み重なっている。色々問題はあるが、本館も否定しないという考えである。

チ 提出した質問書の回答に納得していないところが多々残っている。回答は一方的な行政側の答えであり、私達は反論も出来ていないので次回やってください。

→ (教育行政) 各委員からの個別の質問に関しては、個別に図書館で対応させていただく。他の委員からそういう意見を特に聞きたいということであれば別であるが、まずは個別に対応させていただきたい。

→ (チの発言委員) 個別は絶対反対。

→ (他の委員 A) ここの16名中、5名の委員から質問が出ている。書類で回答しているし、残りの委員は質問してないので自分達で解釈していると思う。

→ (委員長) 現状維持か移転かは、早急に決められないのではないかと。

→ (教育行政) この議論を5回目の会議からチャートに提出させていただき、その後も2回程続けたところであるので、次回2月には次の協議テーマに移り、移転を前提とした、どんな図書館が求められるかという話をさせていただきたい。最終的に現施設でともどる可能性はあるが、前に進みたいと思うので、次回移転を前提とした今後の方向性について、どんな図書館が求められるかという話に進めさせていただきたい。

→ (他の委員 B) 確認だが、今回の書類の中に「図書館の機能と役割」が入っていたが、これは教育委員会が考えている図書館の在り方であるか。

→ (教育行政) 配布資料は、前回、図書館の機能や役割の書面での質問があり、これは意見交換会で配布し、並びにまちづくり協議会で説明したものを再度配

布したもので、教育委員会から配布しているものである。

→（他の委員C）5人からの質問書は、皆さんと共有したくて書いた。個人的に質問したのではなく、皆さんにも同じく問題視して検討してもらいたく文章化して見せたかった。意見を共有資料として使っていただきたい。全部の答えをとっては言ってるのではなく、大事な問題はピックアップするので、折りに触れ質問させていただきたいということである。

→（委員長）次回は、次の協議テーマに移ってよいか。

→（他の委員D）次のテーマに移っても良いが、回答にまだ釈然としないものとか、聞きたいこともある。それをクリアした上で、今おっしゃった提案に進んでいただきたいという思いが5人にあることを理解していただきたい。

→（教育部局）回答の中には、今後検討の際にお答えしますとなっているのもあり、その時々に応じて必要な質問について当然お答えする予定であるが、今出せるのはここまでであると。それについて、書いてある文言について理解が難しい等であれば個別にお聞きいただきたいという趣旨であった。今後、次の協議テーマに移った時に色々疑問点が出てくるのは勿論その通りだと思うので、その時にご質問いただいたり、また他の疑問点等々出たのであれば同様に対応するのは可能かと考えているので、個々ということが共有しないで良いという意味ではないのでご理解いただければと思う。

次回は、どんな図書館が良いかというような前向きな議論になれば良いなと思うのでご協力をお願いしたい。

→（委員長）次回は、次の協議テーマでよろしいか。意見がないようなので、今日の協議は終了とする。

3 閉会

（1）次回の会議日程の確認（事務局）

以上